

令和4年度 熊本県国語教育研究大会 八代大会

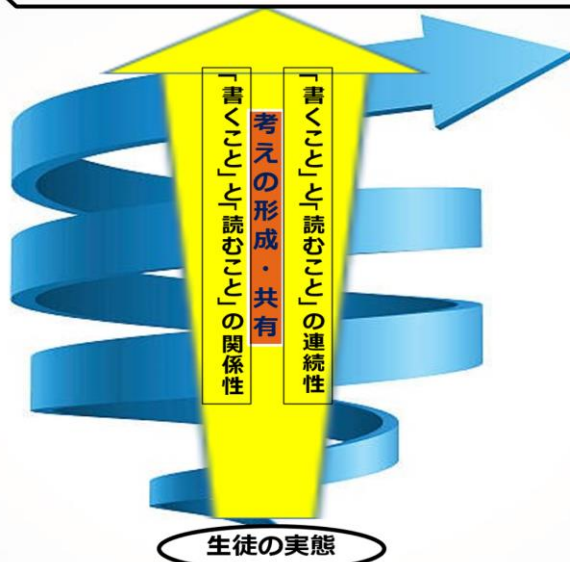
研究概要説明

本研究大会の概要をご説明いたします。

八代教育研究会中学校国語部会では、研究テーマを「考えをよりよく形成・共有できる授業の創造」～生徒自らが手応えを感じることができる学習～として研究や実践に取り組んで参りました。私たちが目指してきたもの、大切にしてきたことは、八代の子供たちに確かな国語の力をつけること。学習者が主体的に学びに取り組み、達成感や満足感を得ながら、豊かな言語生活を築いていけるということです。

令和4年度
第58回 熊本県中学校国語研究大会
＜八代大会＞

考えをよりよく形成・共有できる授業の創造 ～生徒自らが手応えを感じることができる学習～



「書くこと」と「読むこと」の**関係性と継続性**（積み上げ）を意識した活動

- ・考えをよりよく形成する活動
- ・考えをよりよく共有する活動

「書くこと」部会・「読むこと」部会が
目指すもの

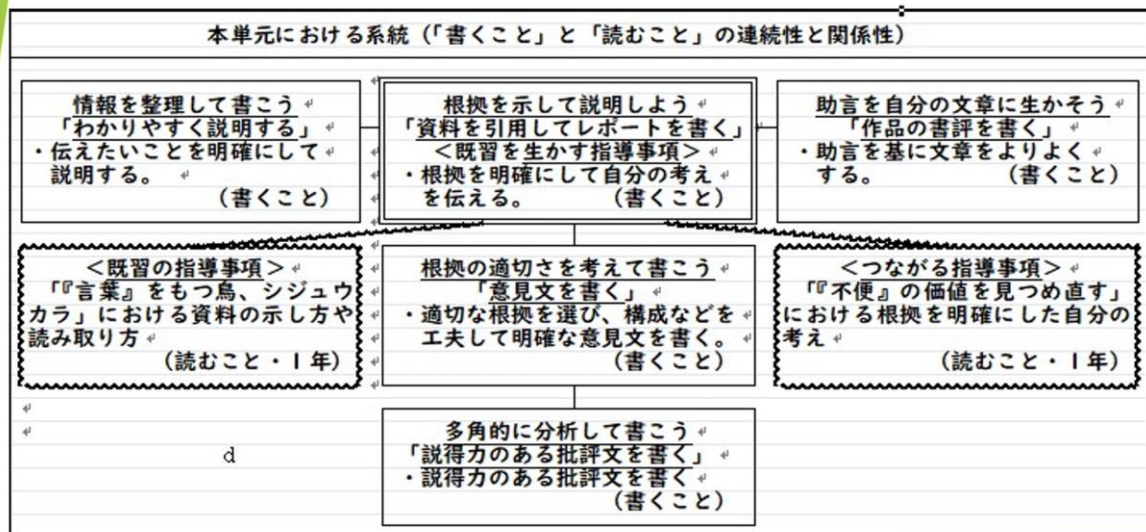
生徒（八代）の実態
・教師側からの見立て
・生徒自身の意識

学力調査における質問紙からは、国語の学習の必要性を感じている生徒の割合が高いこともわかりました。そのような生徒たちの思いも汲み取り、まずは八代の生徒の実態を把握し、共有することから始めました。課題とされる内容を分析し、「書くこと」と「読む

こと」の2つの部会を設定しました。そして、実生活で必要とされる力の育成を、国語科で育てるべき資質・能力に当てはめ、「考えの形成」と「共有」をキーワードとした学習内容の構築と指導の充実によって向上させたいと考えました。その中において大切にすることが、「書くこと」と「読むこと」の関係性と連続性です。

学習構想案について（八代中国研版）^④

教材文の内容理解に終始するだけでなく、螺旋的・継続的な学習を大切に、繰り返し学習することで、より確かな国語の力を身に付けられるようにする。



「書くこと」の領域の学習では「読むこと」を、「読むこと」の領域の学習では「書くこと」の指導事項をそれぞれ意識した授業の創造を目指しました。それぞれの領域が相互に影響し、刺激し合う関係を保つとともに、さらにそのことが連続・継続することにより、「学びの確かさ」や「学びの実感」がより助長され、増幅されていくものと考えました。このことは普段から意識した学習がなされているものではありませんが、さらにそのレベルを上げ、部員全員が取り組むことを大切にしてきました。

その意識化を図るために、学習構想案における「系統」の部分の記述を工夫してみました。これまでの同じ領域内での系統記述を、「書くこと」と「読むこと」をリンクさせた形での記述とし、関係性を意識した、連続的かつ繰り返しのある学習に取り組みました。

また、2つの部会のテーマを、「書くこと」部会では、「自分の考えや情報を整理し、他者にわかりやすく伝える書き方を工夫する生徒の育成」「読むこと」部会では、「知識や経験を結び付けて比較・批評して読み、自分の考えを『まとめる・広げる・深める』生徒の育成」と設定して、研究と実践を重ねてきました。

「書くこと」部会テーマ

「自分の考えや情報を整理し、他者にわかりやすく伝える書き方を工夫する生徒の育成」

「読むこと」部会テーマ

「知識や知識を結び付けて比較・批評して読み、自分の考えを『まとめる・広げる・深める』生徒の育成」

これから各部会の研究会となります。両部会の内容が少しでも先生方の学びにつながることを願っております。

考えをよりよく形成・共有できる授業の創造
～生徒自らが手応えを感じることができる学習～

「書くこと」部会テーマ

「自分の考えや情報を整理し、他者にわかりやすく伝える書き方を工夫する生徒の育成」

考えをよりよく形成・共有できる授業の創造
～生徒自らが手応えを感じることができる学習～

「読むこと」部会テーマ

「知識や知識を結び付けて比較・批評して読み、
自分の考えを『まとめる・広げる・深める』
生徒の育成

最後になりますが、コロナ禍にあって、授業研究会をはじめ研修など、思うような部員同士の交流ができない状況ではありましたが、年度末には各学校で取り組んだ各自の授業実践の学習構想案をデータ集として共有し、授業づくりに生かす活動にも取り組みました。本日はオンラインという制約の中ではありますが、私たちの研究と実践について、幅広いご意見をお聞きすることで、さらに指導力の向上に努めて参りたいと考えております。簡単ではありますが、これで研究概要の説明を終わります。どうぞよろしくお願いいたします。